

《婦人薬 No1》

問 1 婦人薬の漢方処方製剤に関する以下の記述について、正しいものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

体力中等度で皮膚はかさかさして色つやが悪く、のぼせるものの月経不順、月経困難、血の道症、更年期障害、神経症、湿疹・皮膚炎に適すとされるが、胃腸が弱く下痢しやすい人では胃部不快感、下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。まれに重篤な副作用として、肝機能障害を生じることが知られている。

- 1 温経湯
- 2 加味逍遥散
- 3 温清飲
- 4 四物湯
- 5 桂枝茯苓丸

【正解 3】

[H29 九州・沖縄ブロック]

問2 女性ホルモンに関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

月経周期は、種々のホルモンの複雑な相互作用によって調節されており、約(ア)と幅がある。加齢とともに卵巣からの女性ホルモンの分泌が(イ)していき、やがて月経が停止して、妊娠可能な期間が終了することを閉経という。閉経の前後には(ウ)と呼ばれる移行的な時期があり、体内の女性ホルモンの量が大きく変動することがある。

- 1 ア. 3～10日 イ. 増加 ウ. 更年期
- 2 ア. 3～10日 イ. 減少 ウ. 産褥期
- 3 ア. 21～40日 イ. 減少 ウ. 産褥期
- 4 ア. 21～40日 イ. 減少 ウ. 更年期
- 5 ア. 21～40日 イ. 増加 ウ. 産褥期

【正解4】

月経周期は、種々のホルモンの複雑な相互作用によって調節されており、約(ア. 21～40日)と幅がある。加齢とともに卵巣からの女性ホルモンの分泌が(イ. 減少)していき、やがて月経が停止して、妊娠可能な期間が終了することを閉経という。閉経の前後には(ウ. 更年期)と呼ばれる移行的な時期があり、体内の女性ホルモンの量が大きく変動することがある

[H30 九州・沖縄ブロック]

問3 婦人薬に配合される成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア サフランは、鎮静、鎮痛のほか、女性の滞っている月経を促す作用を期待して配合されている場合がある。
- イ 滋養強壯作用を期待して、モクツウが配合されている場合がある。
- ウ ジオウは、血行を改善し、血色不良や冷えの症状を緩和する作用を期待して用いられる。
- エ 血行を促進する作用を目的として、ビタミンB6が配合されている場合がある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	誤

【正解3】

ア○

イ×：滋養強壯作用を期待して、「アミノエチルスルホン酸（タウリン）」が配合されている場合がある。

モクツウは「利尿作用を期待して」配合されている場合がある。

ウ○

エ×：血行を促進する作用を目的として、「ビタミンB6」ではなく「ビタミンE」が配合されている場合がある。

[H30 九州・沖縄ブロック]

問4 以下の女性の月経及び更年期障害に伴う諸症状の緩和に用いられる主な漢方処方製剤のうち、カンゾウを含むものとして、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 四物湯
- 2 五積散
- 3 温経湯
- 4 加味逍遙散
- 5 桃核承気湯

【正解1】

四物湯は、構成生薬としてカンゾウは含まない。

[H30 九州・沖縄ブロック]

問22 婦人薬として使用される五積散に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。
(ア)で冷えがあるものの胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、頭痛、更年期障害、感冒に適すとされるが、体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人では、不向きとされ、構成生薬として(イ)を含む。

- 1 ア. 体力中等度以上 イ. マオウ
- 2 ア. 体力中等度以上 イ. オウゴン
- 3 ア. 体力中等度以上 イ. ダイオウ
- 4 ア. 体力中等度又はやや虚弱 イ. マオウ
- 5 ア. 体力中等度又はやや虚弱 イ. ダイオウ

【正解4】

(ア. 体力中等度又はやや虚弱)で冷えがあるものの胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、頭痛、更年期障害、感冒に適すとされるが、体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人では、不向きとされ、構成生薬として(イ. マオウ)を含む。

[H29 九州・沖縄ブロック]

問5 婦人薬の女性ホルモン成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア エチニルエストラジオール、エストラジオールを補充するもので、膣粘膜または外陰部に適用されるものがある。
- イ 妊娠中に摂取することによって胎児の成長を促す作用が報告されており、妊婦又は妊娠していると思われる女性では使用を続けるべきである。
- ウ 吸収された成分の一部が乳汁中に移行することが考えられるため、母乳を与える女性では使用を避けるべきである。
- エ 長期連用により乳癌や脳卒中などの発生確率が高まる可能性があるため、継続して使用する場合には、医療機関を受診するよう促すべきである。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

【正解2】

ア○

イ×：妊娠中の女性ホルモン成分の摂取によって胎児の先天性異常の発生が報告されており、妊婦又は妊娠していると思われる女性では使用を避ける必要がある。

ウ○

エ○

[R1 九州・沖縄ブロック]

問6 以下の記述にあてはまる漢方処方製剤として、最も適切なものを下から一つ選びなさい。

体力中等度以下で、手足がほてり、唇が乾くものの月経不順、月経困難、こしけ（おりもの）、更年期障害、不眠、神経症、湿疹・皮膚炎、足腰の冷え、しもやけ、手あれに適すとされるが、胃腸の弱い人では、不向きとされる。

- 1 小柴胡湯
- 2 麦門冬湯
- 3 六味丸
- 4 温経湯
- 5 竜胆瀉肝湯

【正解4】

温経湯（「手足がほてり、唇が乾く」が特徴的）

[R1 九州・沖縄ブロック]

問7 月経及び婦人薬の適用対象となる体質・症状に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選びなさい。

- ア 月経周期は、種々のホルモンの複雑な相互作用によって調節されており、乳腺で産生されるホルモンと、卵巣で産生される女性ホルモンが月経周期に関与する。
- イ 加齢とともに卵巣からの女性ホルモンの分泌が減少していき、やがて月経が停止して、妊娠可能な期間が終了することを更年期という。
- ウ 血の道症とは、臓器・組織の形態的異常がなく、抑鬱や寝つきが悪くなる、神経質、集中力の低下等の精神神経症状が現れる病態のことをいう。
- エ 月経の約3～10日前に現れ、月経開始と共に消失する腹部膨満感、頭痛、乳房痛などの身体症状や感情の不安定、興奮、抑鬱などの精神症状を主体とするものを、血の道症の中でも特に月経前症候群という。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	誤	正

【正解4】

ア×：「視床下部や下垂体」で産生されるホルモンと、卵巣で産生される女性ホルモンが月経周期に関与する。

イ×：加齢とともに卵巣からの女性ホルモンの分泌が減少していき、やがて月経が停止して、妊娠可能な期間が終了することを「閉経」という。

ウ○

エ○

[R2 九州・沖縄ブロック]

問8 以下の記述にあてはまる婦人薬の漢方処方製剤として、最も適切なものを下から一つ選びなさい。

体力中等度で皮膚はかさかさして色つやが悪く、のぼせるものの月経不順、月経困難、血の道症、更年期障害、神経症、湿疹・皮膚炎に適すとされるが、胃腸が弱く下痢しやすい人では胃部不快感、下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

まれに重篤な副作用として、肝機能障害を生じることが知られている。

- 1 温清飲
- 2 四物湯
- 3 温経湯
- 4 五苓散
- 5 大柴胡湯

【正解1】

1 ○

2 四物湯：体力虚弱で、冷え症で皮膚が乾燥、色つやの悪い体質で胃腸障害のないものの月経不順、月経異常、更年期障害、血の道症、冷え症、しもやけ、しみ、貧血、産後あるいは流産後の疲労回復に適すとされる。

3 温経湯：体力中等度以下で、手足がほてり、唇が乾くものの月経不順、月経困難、こしけ（おりもの）、更年期障害、不眠、神経症、湿疹・皮膚炎、足腰の冷え、しもやけ、手あれに適すとされる。

4 五苓散：登録販売者試験の範囲外

5 大柴胡湯：体力が充実して脇腹からみぞおちあたりにかけて苦しく、便秘の傾向があるものの胃炎、常習便秘、高血圧や肥満に伴う肩こり・頭痛・便秘、神経症、肥満症に適すとされる。

[R2 九州・沖縄ブロック]

問9 婦人薬として用いられる漢方処方製剤に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 加味逍遙散は、まれに重篤な副作用として、肝機能障害、腸間膜静脈硬化症を生じることがあり、構成生薬としてカンゾウを含む。
- b 五積散は、発汗傾向の著しい人には不向きとされ、構成生薬としてマオウを含む。
- c 桃核承気湯は、妊婦又は妊娠していると思われる女性、授乳婦における使用に関して留意する必要がある、構成生薬としてマオウを含む。
- d 当帰芍薬散は、胃腸の弱い人には不向きとされ、構成生薬としてカンゾウを含む。

1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d) 4 (b, c) 5 (b, d)

【正解1】

a ○

b ○

c ×：桃核承気湯は、構成生薬として「カンゾウ」「ダイオウ」を含み、「マオウ」は含まない。

d ×：当帰芍薬散は、「カンゾウ」「マオウ」「ダイオウ」いずれも含まない。

[R1 中国ブロック]

問 10 婦人薬及びその適用対象に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 血の道症は、臓器・組織の形態的異常があり、抑鬱や寝つきが悪くなる、神経質、集中力の低下等の精神神経症状が現れる病態で、更年期（閉経周辺期）に限って現れる。
- b 婦人薬は、その効能・効果として、血の道症、更年期障害、月経異常及びそれらに随伴する冷え性、月経痛、腰痛、のぼせ、肩こり、めまい、動悸、息切れ等に用いられる。
- c 女性ホルモンの一種であるエストラジオールは、母乳を与える女性への使用が推奨されている。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	誤
5	誤	正	正

【正解 4】

a × : 血の道症は、臓器・組織の形態的異常が「なく」、抑鬱や寝つきが悪くなる、神経質、集中力の低下等の精神神経症状が現れる病態で、年齢的に必ずしも「更年期に限らない」。

b ○

c × : 吸収された成分の一部が乳汁中に移行することが考えられ、母乳を与える女性では「使用を避けるべきである」。

[R2 中国ブロック]

問 11 以下の記述にあてはまる婦人薬の漢方処方製剤として、最も適するものはどれか。

体力中等度以下で、冷え症、貧血気味、神経過敏で、動悸、息切れ、ときにねあせ、頭部の発汗、口の渇きがあるものの更年期障害、血の道症、不眠症、神経症、動悸、息切れ、かぜの後期の症状、気管支炎に適すとされる。

- 1 柴胡桂枝乾姜湯
- 2 桂枝茯苓丸
- 3 桃核承気湯
- 4 葛根湯

【正解 1】

1 ○

2 桂枝茯苓丸：比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるものの、月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症、肩こり、めまい、頭重、打ち身（打撲症）、しもやけ、しみ、湿疹・皮膚炎、にきびに適すとされる。

3 桃核承気湯：体力中等度以上で、のぼせて便秘しがちなものの月経不順、月経困難症、月経痛、月経時や産後の精神不安、腰痛、便秘、高血圧の随伴症状（頭重、めまい、肩こり）、痔疾、打撲症に適すとされる。

4 葛根湯：体力中等度以上のものの感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛みに適すとされる。『かぜの症状緩和に用いる漢方処方製剤』

[R2 中国ブロック]

問 12 婦人薬に配合される生薬成分と女性に現れる特有な諸症状に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 月経痛について、年月の経過に伴って次第に増悪していくような場合や、大量の出血を伴う場合は、子宮内膜症などの病気の可能性がある。
- 2 更年期障害の不定愁訴とされる症状の背景に、原因となる病気が存在していることがある。
- 3 抗炎症作用を期待して、カンゾウが配合されている場合がある。
- 4 鎮静作用を期待して、オウレン、ソウジュツ、ビャクジュツ、ダイオウが配合されている場合がある。

【正解 4】

「胃腸症状に対する効果」を期待して、オウレン、ソウジュツ、ビャクジュツ、ダイオウが配合されている場合がある。

[R3 中国ブロック]

問 13 婦人薬及びその配合成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- a サフランは、女性の滞っている月経を促す作用を期待して配合されている場合がある。
- b センキュウは、血行を改善し、血色不良や冷えの症状を緩和するほか、強壯、鎮静、鎮痛等の作用を期待して用いられる。
- c エチニルエストラジオールは、長期連用により血栓症を生じるおそれがある。
- d コウブシは、利尿作用を期待して配合されている場合がある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	誤	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	正	誤	誤	正

【正解1】

a ○

b ○

c ○

d × : コウブシは、鎮静、鎮痛のほか、女性の滞っている月経を促す作用を期待して配合されている場合がある。

利尿作用を期待して配合されるのは、モクツウ、ブクリョウ等。

[R1 奈良]

問 14 次の婦人薬として用いられる漢方処方製剤のうち、構成生薬にダイオウを含むため、授乳婦や妊婦又は妊娠していると思われる女性の使用に関して、留意する必要があるものを1つ選びなさい。

- 1 桂枝茯苓丸
- 2 温清飲
- 3 四物湯
- 4 桃核承気湯
- 5 当帰芍薬散

【正解 4】

[R1 奈良]

- 問 15 女性の月経に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを1つ選びなさい。
- a 女性の月経は、子宮の内壁を覆っている膜（子宮内膜）が剥がれ落ち、血液（経血）と共に排出される生理現象である。
 - b 月経の周期には、視床下部や下垂体で産生されるホルモンと、子宮で産生される女性ホルモンが関与している。
 - c 月経前症候群は、加齢とともに女性ホルモンの分泌が減少していき、やがて月経が停止して、妊娠可能な期間が終了することをいう。
 - d 更年期においては、月経周期が不規則になるほか、不定愁訴として血の道症の症状に加え、冷え症、腰痛等の症状が起こることがあり、こうした症候群を更年期障害という。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	正	正	誤	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	誤	正
5	正	誤	正	誤

【正解 1】

a ○

b × : 子宮→卵巣

c × : 月経前症候群は月経の約10日～3日前に現れる症状で、月経開始と共に消失する。
記述は、更年期障害の説明である。

d ○

[R2 奈良]

問 16 婦人薬及びその配合成分に関する記述のうち、正しいものの組み合わせを1つ選びなさい。

- a エチニルエストラジオールは、妊娠中の女性ホルモンの補充のために用いられる。
- b ボタンビは、鎮痛・鎮痙作用を期待して用いられる。
- c 当归芍薬散は、体力中等度以上で、のぼせて便秘しがちなものの月経不順、月経困難症、月経痛、月経時や産後の精神不安、腰痛、便秘、高血圧の随伴症状（頭痛、めまい、肩こり）、痔疾、打撲症に適すとされる。
- d 五積散は、体力中等度又はやや虚弱で冷えがあるものの胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、頭痛、更年期障害、感冒に適すとされる。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

【正解3】

a × : 妊娠中の女性ホルモン成分の摂取によって胎児の先天性異常の発生が報告されており、妊婦又は妊娠していると思われる女性では使用を避ける必要がある。

b ○

c × : 記述は、「桃核承気湯」の内容。

d ○

[R3 奈良]

問 17 月経不順などの婦人薬として用いられる漢方処方製剤について、正しいものの組合せを一つ選べ。

- a 猪苓湯
- b 当帰芍薬散
- c 八味地黄丸
- d 加味逍遙散

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

【正解 3】

a × : 猪苓湯は泌尿器用薬。

b ○

c × : 八味地黄丸は泌尿器用薬。

d ○

[R 1 関西広域連合]

問 18 比較的体力がある40歳代の女性、30代後半から子育てや仕事で忙しく、肩こりやのぼせ、月経不順、月経痛がひどく、月経前になるとそれらの症状がさらにひどくなるという。今回もひどい月経痛で漢方薬を求めて来店した。この人に最も適切な漢方処方製剤を一つ選べ。

- 1 当帰芍薬散
- 2 柴胡桂枝乾姜湯
- 3 桂枝加芍薬湯
- 4 桂枝茯苓丸
- 5 猪苓湯

【正解4】

婦人薬の漢方処方製剤9種類の中で、「比較的体力がある」は桂枝茯苓丸だけである。

[R2 関西広域連合]

問 19 月経不順、月経困難や月経困難症に適すとされる漢方処方製剤の正誤について、正しい組合せを一つ選べ。

- a 桃核承気湯
- b 桂枝加芍薬湯
- c 加味逍遙散
- d 当帰飲子

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	正	誤

【正解 2】

a ○

b × 桂枝加芍薬等：腸の不調を改善

c ○

d × 当帰飲子：皮膚の症状を改善

[R3 関西広域連合]

- 問 20 婦人薬とその有効成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。
- a 女性ホルモン成分を含む婦人薬は、長期連用により血栓症を生じるおそれがあり、また、乳癌や脳卒中などの発生確率が高まる可能性もある。
 - b サフランは、女性の滞っている月経を促す作用を期待して配合されている場合がある。
 - c 桂枝茯苓丸は、比較的体力があり、ときにのぼせて足冷えなどを訴えるものの月経不順、月経痛、更年期障害などに適すとされる。
 - d 当帰芍薬散は、体力虚弱で、冷え症で貧血の傾向があり疲労しやすく、ときに下腹部痛や肩こり、耳鳴りなどを訴えるものの月経不順、月経痛、更年期障害などに適すとされる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	誤	誤	正	正
3	誤	誤	誤	正
4	正	正	誤	誤
5	正	誤	正	誤

【正解 1】

- a○
- b○
- c○
- d○

[H30 近畿ブロック]

